

新型インフルエンザに備えよう!



近年、鳥インフルエンザの人への感染が東南アジアを中心に続いており、死者も出ています。このことから、鳥インフルエンザウイルスが変異し、人から人に感染する「新型インフルエンザ」が発生するのではないかと心配されています。

いざというときのために、今、私たちにできることは、新型インフルエンザが発生しても冷静な判断・行動ができるように正しい知識を持つこと。そして、十分な備えをしておくことです。

今回は、新型インフルエンザの予防策や、発生したときの対応などについて紹介します。

新型インフルエンザとは

新型インフルエンザは、これまでに人が感染したことのない、新しいタイプ(型)のウイルスによる感染症です。20世紀に10年から40年の周期で3度発生し、世界中で多くの死者を出しました(左表参照)。人は、新型インフルエンザウイルスに対する免疫(抵抗力)を持っていないため、発生すると大流行する恐れがあります。

近年、毒性の強い鳥インフル

◆20世紀に流行した新型インフルエンザと死者数(推定)

発生年	名称	死者数
1918年	スペインかぜ	2,000万~4,000万人 (39万6,000人)
1957年	アジアかぜ	200万人以上 (1万人)
1968年	香港かぜ	100万人以上 (1,200人)

※()内は日本国内での死者数。

エンザウイルス(H5N1型)の人への感染が、東南アジアを中心に世界15カ国に拡大しており、2月12日現在、407人が感染、そのうち254人が死亡しています。

このことから、H5N1型の鳥インフルエンザウイルスが容易に人に感染するタイプに変わり、人から人に感染する「新型インフルエンザ」が発生し、世界的に大流行するのではないかと心配されています。

新型インフルエンザが発生・流行すること

飛行機などの交通機関が発達した現代では、新型インフルエンザが発生すると、わずか1週間程度で世界中に広がり、多くの人が感染すると考えられています。

国の推計では、新型インフルエンザが流行すると国民の約4人に1人が感染するとされており、本市では、市内で発生してから約8週間で約2万3,700人が感染すると想定されます。

新型インフルエンザに感染すると、毎年冬に流行するインフルエンザの主な症状である発熱や、せきなどの呼吸器の症状、関節痛などが重症化することが考えられます。また、重症化した場合は、呼吸困難や脳炎などを併発し、死亡する可能性が高くなると予想されます。

これらのようなことから、新型インフルエンザが発生・流行すると、仕事を休む人が増え、物流が止まるなど社会機能が停滞し、私たちの生活に大きな混乱が生じる可能性が高いと考えられています。

年2月に策定しました。今後は、この行動計画に基づき、新型インフルエンザが発生したときの具体的な対応策などについて検討していきます。

ロウソクからの予防と備えを十分に

新型インフルエンザ対策は、日ごろからの予防と備えが大切です。

今からできる予防策

通常のインフルエンザは、感染した人のせきやくしゃみ、つばなどといったしよに出されるウイルスを吸い込んだり、ウイルスが付着したものを触った手で、口や目の粘膜を触れたりすることによって感染します。これは、新型インフルエンザも同じと考えられています。インフルエンザウイルスに感染しないようにするために、次のようなことを習慣づけましょう。

- ・外出後の手洗い、うがいを徹底する。
- ・栄養バランスの良い食事をとる。

国・県・市の新型インフルエンザ対策

国や県では、国内での流行を防ぐため、新型インフルエンザ対策行動計画や対応マニュアルを作成しています(国・県の主な対策については下表参照)。

市では、市内での新型インフルエンザ対策を検討するにあたり、基本的な方針や市の体制などをまとめた「天草市新型インフルエンザ対策行動計画」を今

新型インフルエンザに対する国・県の主な対策

段階	状況	主な対策
フェーズ1 フェーズ2	新型インフルエンザウイルスは出現していないが、鳥インフルエンザウイルスが確認されている。	●動物監視・病原体の調査 ●各種ガイドラインの作成 ●流行地への渡航者に対する注意喚起 ●情報収集・発信
フェーズ3	新型インフルエンザウイルスは出現していないが、鳥インフルエンザウイルスがまれに人に感染している。	●国内で飼育されている鶏での発生防止対策を徹底 ●行動計画の策定 ●タミフルの備蓄 ●フェーズごとの医療体制の検討
現在の段階(ただし、国内では人に感染していない)		
フェーズ4	新型インフルエンザウイルスの出現が確認されているが、感染の広がり小さい。	●ワクチンの開発・製造 ●監視体制の強化 ●患者への入院措置など流行防止措置の実施など
フェーズ5	新型インフルエンザウイルスの感染が、比較的大きな集団で発生している。	
フェーズ6	新型インフルエンザが大流行している。	●大規模な集会や、不特定多数が集まる活動の自粛要請 ●すべての医療機関による診断・治療の実施など

※フェーズとは、新型インフルエンザの発生状況の段階を表すもので、世界共通で使われます。
※フェーズ2~6は、国内での新型インフルエンザウイルスの非発生・発生により、さらにA・Bに分類されています。